

事業所名

たんぼぼクラブ

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

25日

法人（事業所）理念		「障がいのある子どもや大人、そのご家族や支援者が 自分らしく生き生きと過ごせる場を提供することを目指します。 誰にもあたたかく、心地よく、安心できる場所でありたい。 寄り添いながらしっかりと根をはり空に向かって花咲く逞しいたんぼぼのように ひとりひとりの願いや幸せの実現に向けて、地域に根差した支援を努めていきます。」									
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身ともに健やかに、自分らしく生きるための支援をします</li> <li>・障がい児者、その家族、支援者も仲間とともに育ちあえる居場所作りをします</li> <li>・障がいのある人、その家族、支援者すべての人々の笑顔を大切にします</li> <li>・地域に根差した活動の場となります</li> <li>・福祉に携わる支援者の育成をします</li> </ul>									
営業時間		平日	15時	0分	18時	0分	開校記念日等のイレギュラーな日	12時	0分	18時	0分
		学校長期休業日	10時	0分	16時	0分	送迎実施の有無	あり	イレギュラーな日は自宅お迎えがありません		
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	体調や発達に合わせて安心できる環境を提供する。 食事・排泄・着替え・身支度等の身辺自立獲得に向けて支援する。 おやつ作りや家庭でもできそうなお手伝いを活動プログラムに組み込む。 夏休みはプールで体力づくりを行う。									
	運動・感覚	外遊びを多く取り入れ体を動かす。 ダンス、ボール運動、遊具遊び等でバランス感覚を養う。 工作や紐結び、調理など、手指の微細運動となる活動を取り入れる。									
	認知・行動	様々な活動を通して場面の切り替えを行い集団に合わせた行動ができるようにする。 自他の気持ちの違いをお友達と遊び関わりの中から学べるようにする。 絵カード、写真、スケジュールボード等の視覚補助を使って見通しを持ち安心して過ごせるようにする									
	言語 コミュニケーション	言語に限らず思っている事を表出できるように本人に合った方法を見つけてコミュニケーションに繋げる。 伝えたい、伝わったという気持ちを持てるように支援者が代弁しながらコミュニケーション力を伸ばす。 言語聴覚士による支援、指導、相談。									
	人間関係 社会性	集団活動、グループ活動を行い、相手の気持ちを考えたり自分を抑えようとコントロールする力を付けていく。 公共機関を使って外出を楽しみながら公共のマナーを学べる機会を作る。 異年齢の仲間達と過ごし下級生に優しくする、助ける事を学ぶ。 支援者が遊びや活動に介入しお友達と関わりが増やせるように支援する									
家族支援		送迎支援、相談支援、緊急一時保護 面談や送迎、保護者会などで細目に連絡がとれる体制作り また保護者参加型の活動や勉強会で保護者同士が繋がる場を提供 イベント等のきょうだい参加					移行支援		進学時の相談。 就労に向けてひとりで通勤ができるように一人通所の練習をサポート。		

<p>地域支援・地域連携</p>	<p>必要に応じて学校、他事業所等と連携会議を開催          学校お迎え時に担任と情報共有          公園遊びでの他児との交流、動物病院への挨拶</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>強度行動障害支援者養成研修の参加          東京都放課後連や江東区障害者連絡会での勉強会          年間計画にある事業所内研修</p>
<p>主な行事等</p>	<p>遠足、夏休み外出、夏祭り、クリスマス会、卒業を祝う会</p>		